

6月16日

第4回幌延町議会

定例会

第4回幌延町定例会が6月16日（火）に開会され、2名の一般質問のほか、報告5件、同意9件、議案6件のほか、意見案1件、発議2件を慎重審議した結果、全て原案の通りに可決し、閉会した。

主な内容は次のとおり

行政報告

問寒別地区をモデルに進める地域コミュニティ形成事業の一環として、5月23日、札幌市の道庁赤れんが庁舎で「といかん・ふるさと同窓会『札幌』」を開催した。昨年の東京開催を受け、道内では初の開催となり、全道各地から延べ約90人が参加。ふるさとの映像上映や特産品の試飲、問寒別室内楽団による校歌の生演奏を通じて交流を深めたほか、参加者からは地域づくりに関する多くの意見や提案が寄せられ、今後の取組につながる有意義な機会

となった。

教育行政報告

令和8年度の児童生徒数は、小学校2校11学級85人、中学校2校7学級53人。各校で運動会・体育大会を開催し、多くの地域住民が声援を送った。中体連や各種大会では陸上、柔道、バレーボールなどで全道大会出場を決めるなど活躍が見られた。社会教育・社会体育事業は年間計画に沿って実施し、スポーツ少年団も剣道、野球、バレーボールで

好成绩を収めるなど、地域のスポーツ活動が活発に展開された。

議案第1号

町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

医師宿直手当の一部未支給事案及び公務災害手続に関する不適正な事務処理事案により、町政に対する町民の信頼を損なったことへの責任を明らかにするため、町長及び副町長の給料を令和8年7月支給分に限り、それぞれ10%減額するもの。

併せて、町民及び議会に対する謝罪の意を表明するとともに、再発防止と服務規律の徹底を図り、信頼回復に努める考えを示した。

議案第4号

令和8年度幌延町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ8千757万7千円を追加し、予算総額を6億8千757万7千円とするもの。

主な内容は、利用実態のない集会施設の解体、地域コミュニティ形成事業、地域おこし協力隊の処遇改善、国民健康保険診療所特別会計への繰出金、給食センター厨房設備の更新、学校給食費負担軽減事業など。

齋賀議員

地域コミュニティ形成事業の委託料について、どのような成果を求めるものなのか。また、成果物の活用方法や国からの補助制度は。

山下地域対策担当課長

関係人口の創出に向け、地域PR動画の制作、地域キャラクターの作成、住民との懇談会運営などを行うもの。完成した動画やキャラクターは、

SNSでの情報発信や地域PRなどに活用していく。財源は、過疎地域持続的発展支援交付金を活用して実施する。

齋賀議員

LINEの登録者数を増やすためには、利用者の利便性を高めるメニュー機能の設定を早期に進める必要があるのではないか。

山下地域対策担当課長

まずは町の情報発信を通じて登録者を増やしていきたい。メニューは、無料で活用できる機能を検討しながら運用を進め、登録者数や利用状況に応じて必要な機能の導入を検討していく。

齋賀議員

給食センターの食器洗浄機など厨房設備の更新について、購入方法はどういうふうに考えているのか。

古草教育次長

現在使用している厨房機器との適合性を考慮し、既存設備の製作業者との随意契約を検討。

意見案第1号

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について

て

・提出者 高橋 秀之議員
・賛成者 無量谷 隆議員

北海道の森林は、地球温暖化の防止や国土の保全など重要な役割を担っている。一方、物価・人件費の高騰や山地災害への対応、林業の担い手不足、スマート林業の推進など、森林・林業を取り巻く課題は多様化しており、地方の財政力だけで対応することは困難な状況にある。

このため、森林整備や国土強靱化に必要な予算の確保をはじめ、木材利用の拡大や人材確保など、森林・林業・木材産業施策の充実・強化を国に求めるため、本意見書を提出するものである。

5月19日

第3回幌延町議会

臨時会

第3回幌延町議会臨時会は、5月19日（火）に開会され、承認2件、議案7件を原案どおり可決し、同日、